## 観櫻火宴

雲仙市 千々石町

まるでタイムトリップしたかのよう。を歩いていく。その圧倒的な迫力は、を歩いていく。その圧倒的な迫力は、 満開に咲き誇る桜の下

日本一の松明武者行列である「観櫻 とている。戦国時代、千々石城主として している。戦国時代、千々石城主として この地を治めていた千々石大和守直員 この地を治めていた千々石大和守直員 は、佐賀の龍造寺氏に攻め入られた 際、百人足らずの兵と城下の農民と共 に果敢に迎え撃ったものの、敗戦し落

華やかな神楽や火縄銃鉄砲隊の演武

千々石大和守が果たせなかった勝ちど 一キロの道中を練り歩き、最後に橘神 一キロの道中を練り歩き、最後に橘神 社の桜の下を勇壮に歩く姿は圧巻。彼

きを上げるがごとく「イヤサカーッ!」きを上げるがごとく「イヤサカ」は「弥楽」と書き、「千々石がますます栄えるように」という願いが込められているという。

想的な春の夜の夢のようだ。歴史絵巻。その光景は、勇ましくも幻下で繰り広げられる武者たちの壮大な下で繰り広げられる武者たちの壮大な

天正遣欧少年使節の一人として渡欧した※千々石紀員/後に洗礼名の千々石ミゲルを名乗り、

